

岩本橋と河川公園



DATA・BOARD 58



- ① 熊本県荒尾市大字上井手
- ② 橋梁部分：延長32m・幅員4m、公園面積6,000㎡
- ③ 階段式護岸、遊歩道
- ④ 凝灰岩

荒尾市では、関川の上流にある熊本県指定重要文化財である岩本橋（眼鏡橋）の周辺を河川公園として整備し、史跡と周辺景観の調和を図った。

岩本橋は明治初期に架けられた石造りの二連式眼鏡橋で、一部の束石には八弁菊花紋など浮き彫り装飾が施されている。以前の河道は、橋を保存する目的で改修工事を行った際にショートカットされ、旧河道に残された石橋の下は土砂などが堆積し荒れた状態となっていた。そのため、水の流れを復元し、川原まで降りられる階段式護岸や遊歩道等を設置し、親水性のある史跡公園としての整備を行ったものである。

現在では、情緒と個性のある水辺景観が形成され、多くの人々に憩いとやすらぎの場として利用されている。